

曲中新時代！

昨年度からの通算

校長発信 2024. 4. 9 NO. 1 / 32

4月6日(土)の午前、着任式と始業式を行いました。体育館に整列した2・3年生は、姿勢正しく、お話しされる方々にしっかりと向き合っていて、非常に立派でした。生徒指導担当のS先生からも、お褒めの言葉が投げかけられました。始業式での代表生徒の挨拶も、非常に素晴らしいものでした。よいスタートを切った曲中生の、今後の活躍が大いに楽しみです。



始業式での校長挨拶は、以下の通りです。

大曲中学校の新年度が、いよいよスタートしました。4月を迎え、3月とはまたちょっと違った気持ちで、この春休み、またちょっと成長して、頑張ろうという思いが沸き上がっているでしょうか。

新年度の始まりにあたって、一つお話をします。それは、「真似よう、真似られよう」ということです。なぜこういった話をしようと思ったかということ、3月の生徒会集会や修了式での生徒のお話が非常に素晴しかったからです。他の人にもぜひとも真似してほしい、参考にしてほしいと思ったからです。先ほどの始業式での挨拶も大変素晴らしいものでした。

私が30年くらい前に勤めていた千歳の中学校でのお話です。私の学級にHさんという生徒がいて、クラスメートのMさんに対して、ものすごくあこがれを持っていました。「Mさんみたいになりたい」が口癖でした。Hさんは、国語の成績は3だったのですが、Mさんみたいになりたいと思って、授業を頑張るようになりました。Mさんは、2年修了後転校してしまうのですが、MさんがいなくなってもHさんは頑張り続け、卒業の時には、国語の成績は5になっていました。

大曲中には、素晴らしい力を持った生徒がたくさんいます。ぜひ仲間の良いところを真似して、お互いの成長につなげましょう。

午後入学式を行い、新入生が入学してきます。先輩である皆さんは、ぜひしっかりと真似をさせてあげてください。集会での態度、話の聞き方、廊下での過ごし方、行事での頑張り、校外での過ごし方。新入生のお手本となってあげてください。

今年度の大曲中学校の重点教育目標は、「命と誇りを育む曲中新時代！」としました。お互いの命と誇りを大切にしながら、さらに平和な大曲中学校を築いていきましょう。

※次頁もあります

4月6日(土)の午後、入学式を行いました。3月の卒業式同様、多くの来賓の皆様方に見守っていただいたの实施でしたが、新入生の皆さんの、話に向き合う姿勢が非常によく、今後の中学校生活に、大いに期待を抱かせるものでした。可能性に満ちた新入生を、全教職員でしっかりと育ててまいります。

以下は、入学式での校長式辞(抄二部分)です。



皆さんの年代は、心と体が急激に発達する、最も成長が顕著な時です。積極的に、何事にも挑戦する中で、無限の可能性を伸ばして行ってほしいと強く願います。
皆さんの栄えある中学校生活のスタートに当たって、二つのことをお話します。

一つは、「あきらめない」ということです。前途洋々な皆さんの中学校生活ですが、時には、困ったことや辛いことも、決してないとは言えません。しかし、人には乗り越えられない災難は訪れない、とも言います。

今国内外では、紛争や災害等、多くの困難が発生していますが、未曾有の困難に直面しても、人は自らの信念を強く持ち、人と力を合わせることで乗り越えながら歴史を創造してきました。

大曲中学校の教職員も、皆さんを今日迎えるにあたって、できるだけ準備に力を尽くしてきました。また、皆さんの夢の実現のために、教職員一同、全力で支援しますので、安心して、信頼を寄せて、自分の可能性をあきらめることなく、洋々たる前途を切り開いて行ってください。

二つ目は、「命と誇りを大切に」ということです。皆さんがこの世に生を受けた時、多くの人々からの祝福に包まれたはずで、あなたが生まれたことによって幸せを実感できた人々がたくさんいたのです。その命を大切に、お互いを尊重し合い、誇りをもって生きて行ってほしいと願います。

人間同士叡智を働かせながらも、トラブルや行き違いや争いが生じることもあります。自然の恵みに抱かれ生かされながらも、時には自然の猛威によって、命を脅かされてしまうこともあります。我々生きとし生ける者が、自然とも共存し、お互いの個性や持ち味を尊重しながら、いかに生きやすい世界を構築していくかが大切です。自分達にとって過ごしやすい、成長しやすい学校を、自分たちの手でしっかりと築いていきましょう。

皆さんには、温かく見守ってくれる保護者がいます。成長を支えてくれる地域の方々があります。よき手本となって導いてくれる先輩たちがいます。

そして大曲中学校の教職員一同、皆さんの無限の可能性を、全力で支援してまいります。